



和だより

弟子屈町立和琴小学校

7月27日 発行者 校長 渥美清孝

～学校と家庭と地域で子育てする和琴小～

■学校教育目標

よく考え正しく判断できる子 (知)

強い心と体でやり抜く子 (体)

優しい心で助け合う子 (徳)

見て動く

校長 渥美清孝

朝、始業前に教室に行くと、どの子ども元気に「おはようございます。」と挨拶をしてくれます。

気持ちのよい挨拶も和琴小学校の伝統的なすばらしさです。子どものすがすがしい挨拶の声から、1日の仕事を始めることができるのは、格別に幸せなことです。その「おはようございます。」という短い挨拶にも、一人一人の違いがあり、その違いは私にいろいろな気づきを与えてくれます。

例えば、挨拶のタイミングの違いです。言い換えると、私と子どものどちらが先に挨拶をするかという違いです。

どの子ども、朝は学習の準備をしたり、身支度を整えたり、読書をしたりと忙しくしていますから、静かに教室に入る私には気づかず、私の挨拶を聞いて、それに応えるように「おはようございます。」と挨拶をするケースが普通です。

しかし、一人だけ、必ず自分から「おはようございます。」と挨拶をする人がいます。挨拶をしようと思っ、教室を覗いた途端に挨拶をしてくれるので、とても嬉しい気持ちになります。

それにしても、なぜ、自分から挨拶ができるのでしょうか。おそらく、その理由はたくさんあると思うのです。

まず、(当たり前ですが、)挨拶に関する知識があるということ、次に、挨拶をしようという意欲を持っていること、さらに、挨拶ができる行動力があること。そして、それが習慣になっていること。

挨拶に行動力という言葉を使うのは大げさに思うかも知れませんが、いつでも自分から挨拶ができるというのは、たいした行動力に違いありません。逆に考えると、挨拶すらできないのに、その他のことに行動力を求めるのは難しいのではないのでしょうか。

また、視点を変えて考えると、「見て動く」ことができていても言えます。これは、「言われて動く」ことと比較するとその価値が分かります。

社会に出て、仕事をするときに、上司や先輩、周りの人はいちいち仕事の内容ややり方を言って(教えて)くれるとは限りません。むしろ、見て動くことを求められる方が圧倒的に多いのです。

ですから、学校に通っている間に「見て動く」ことを習慣化したいものです。私は、主体的というのは、まず、そういうことをいうのだと考えています。

さて、夏休みは、家庭が生活の中心となります。子どもたちが、安全に過ごすことができるよう、家庭でのご配慮をお願いします。また、知識を増やし、意欲を高め、行動力を試すような経験が何か少しでもできれば、素晴らしい夏休みになるのではないのでしょうか。きっと、挨拶のような何気ない日常生活の中にそういうチャンスがたくさんあるのだと思います。

1学期間、ご家庭の皆様には、大変な支えをいただきました。心より感謝申し上げます。

2学期に、また元気な子どもたちと会えるのを楽しみにしています。

< 8月の行事 > 下校時刻は、前半が5時間・後半が6時間

日	曜	行 事	下校時刻	給食
1	日	夏季休業 (～8/23)		
2	月	【学校閉庁日のお知らせ】 弟子屈町では、学校における働き方改革『北海道アクション・プラン』に基づき、今年度も、8/12、13、16の3日間を【学校閉庁日】とすることにしました。ご理解の上、ご協力賜りますようお願い申し上げます。 緊急連絡先 (弟子屈町教育委員会) 015-482-2945		
3	火			
4	水			
5	木			
6	金			
7	土			
8	日			
9	月			
10	火			
11	水			
12	木		学校閉庁日	
13	金	学校閉庁日		
14	土			
15	日			
16	月	学校閉庁日		
17	火			
18	水			
19	木			
20	金			
21	土	週休日		
22	日	週休日		
23	月			
24	火	2学期始業式	14:20 15:20	○
25	水		14:20	○
26	木	へき複2校合同修学旅行	14:20 15:20	○
27	金	へき複2校合同修学旅行	14:20 15:20	○
28	土	週休日		×
29	日	週休日		×
30	月	チャレンジ夏休み (～31日)	14:20 15:20	○
31	火	秋の校外清掃	14:20 15:20	○

※昨今の状況から予定が変更になる可能性があります。ご了承ください。

7月の和っ子

<夏のふるさと体験学習>

7月16日(金)17日(土)の2日間で夏のふるさと体験学習を行いました。この学習は、子どもたちが住んでいる地域を体感して、ふるさとへの思いを持ち、そこからさらに深めたいことを調べていくという学習として行っています。1日目は、保護者の石井さんをお願いして、乗馬体験を行いました。子どもたちは、石井さんに教わりながら、馬を引いてお世話する場所にまず移動し、そこでブラシがけをしました。ブラシをかけると馬たちは気持ち良さそうにしています。次に、馬に乗る準備で鞍などをつけていきます。



石井さんの教え方がとても上手で子どもたちは、話をよく聞きながら楽しく活動していました。馬に乗る準備が整ったらいよいよ乗馬です。馬の簡単な操作の仕方を教わり、馬に乗り込みます。どの子どももこわがることなく馬に乗っていました。そこから湖畔を通るコースを一周しました。子どもたちは、馬の感触や目線の高さ、馬から見える景色を存分に楽しんでいました。

最後は乗せてくれた馬たちをねぎらって終了です。馬のお世話から乗馬までのこの活動は、本当に貴重な体験になりました。実際に馬に触れてみないとわからないことを子どもたちも感じられたようです。石井さん、わかりやすく、温かいご指導ありがとうございました。

2日目は、地元の和琴



半島1周を地域の斎藤敬子さんにガイドをしていただきながら散策する活動を行いました。学校から歩き始め、和琴半島のフィールドハウスに着きました。そこで斎藤敬子さんから和琴半島散策ビンゴカードをいただきました。そのビンゴカードには和琴半島の見所9カ所の写真がのっています。ビンゴカードなので全部同じカードではなく、一人一人のカードが少しずつ違います。子どもたちはカードを手にして散策への意欲がさらに高まったようでした。散策では、岩や樹木、温泉、植物、動物、昆虫などいろいろなことを教わりました。ビンゴカードにある見所を見つけると「あったー」と喜びの声をあげる子どももいました。子どもたちの感想にもありましたが、ただ歩くだけでは見過ごしてしまうものを教えていただき、とても良い経験になりました。斎藤敬子さん、楽しくためになるガイドをしていただき、本当にありがとうございました。この2日間の貴重な体験をこれからさらに深める学習につなげていきます。



<参観日・保護者面談・修学旅行説明会>

7月8日(木)に参観日と保護者面談、修学旅行説明会を行いました。1・2年生は国語で1年生が「おおきなかぶ」2年生は「きつねのおきゃくさま」で学習したことのまとめを発表しました。4年生は算数で「小数のしくみを調べよう」の学習を5・6年生は学活で「修学旅行に向けて」の学習を一緒に行く美留和小学校とそれぞれのタブレットを使ってリモートで行いました。その後の保護者面談、修学旅行説明会でも和やかな雰囲気でも面談や説明会が進みました。保護者の皆様、お忙しい中ご参加いただき大変ありがとうございました。

和琴小ホームページ

<http://163.44.3.160/app-def/S-102/washou/>

8月31日(火)は、校外清掃が行われる予定です。保護者の方も時間がありましたら、是非参加していただくとありがたいです。なお、もし雨天時の場合は、9月3日(金)が予備日となっていますので、併せてお知らせいたします。